れまで、

黒田家出自の定説

黒田家の出身はどこか?

あり→姫路移住」という説を発

平成

滋賀県長浜

市とされていた 福岡県にある古 や西脇市黒田

黒田氏は、

文書

播磨古事」

第 9 号

2014年3月15日

会

集

中

十月以降入会 千円 숲 員 費 募 二 千

基調講演&パネルディスカッション

今年の定期総会の基調講演 &

ネルディスカッションはNH

官兵衛を取り上げ K大河ドラマにあやかり、 講師は黒田美江子氏で、 田

ももう一度。 れまで何度もあり、 究家である。 好きで、 長年してきた姫路在住の歴史研 0) 血縁ではないが、 大河ドラマ化の運動を 岡山での講演はこ 聞かれた方 官兵衛が

> などから、 て備前福岡にも深く関わるかも 市黒田庄町を主張される。 庄町黒田 れないともいわれる。 の荘厳寺に伝わる系図 黒田家の出身は西脇 そし

欄で 著者、 賀藩御算用者」 月 岡 播磨出身→備前福岡居住経験 山出身で『武士の家計簿「 一九日号「古今おちこち 「黒田家、 磯田道史氏は、 の幕末維新』 播磨から流浪か 読売新聞 0) 加

される。 ネラー四名が多彩な切り口で話 パネルディスカッションはパ 是非ご参加下さい。

4

月

29

H

祝日

受付

12 時

30

陽新聞

さん太ホ

い申し上げます。

(会長天野勝昭

年度定期総会のご案内

●総会 13 時~ ●基調講演 13 時 45 分~

26

●パネルディスカッション 15 時 30 分~ 参加費500円(資料代)

定期総会

111111111

平成 25 年度の事業報告、決算報告並びに、新 年度の事業計画、予算(案)審議、役員改選

NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」 (山陽新聞社後援) に学ぶ

黒田美江子氏 (歴史研究家、姫路市在住)

パネルディスカッション 「大河ドラマ軍師官兵衛から」

コーディネーター

山崎泰二氏 岡山歴史研究会副会長

パネラー

竹本弘子氏 徳島歴史研究会副会長

荒木村重研究家

清水宗治の兄の宗知 16 代目 清水 男氏

総社商工会議所会頭

松尾昭男氏 備前福岡史跡保存会理事

黒田官兵衛研究家 黒田美江子氏

基調講演「軍師黒田官兵衛」

準備を進め、 歴

研 でしょうか。

期であります。 の助成をお願いして仕上げる予定で 師をお招きし、基調講演とパネル 次調査ついて福武教育文化振興財 かなければなりません。 ラマ化運動を参考に、 ディスカッションを予定。 やブックサロンの活動もさらに充実 までになっております。 谷ドラマ化の運動を粘り強くして 田官兵衛に焦点をあて、 放送中の してきております。 員数は県下全体で二六○名を超える また新年度は兵庫県に足を延 四月の新年度定期総会では、 昨年六月に開始された歴研サ 岡山歴研は今年五年目を迎え、 官兵衛の足跡をたどる探訪会を 新年度も引き続き、 ご協力、 県下の歴史関連団体の第二 「軍師官兵衛」 ご尽力をよろしくお 時期は西大寺会陽を経 春を迎えようとする時 皆様いかがお過ごし 新年度定期総会の 岡山の山 姫路か 皆様のご理 にちなみ 例年この 現 のド ロ ン 田 黒 会 方 在

岡

将男

畄

將男著

『吉備邪馬台国東遷説』

表紙

東遷説

邪馬台国は

邪馬台

玉

吉備

遷説』執筆の経緯『古備邪馬台国東

NPO法人 公共の交通ラクダ 会長 「岡 將男 (会員)

ロビイスト

ビイストの名前の由来はホテルのロ びに、政府の官僚も総入れ替えとな ビイストの登録も必要らしい。 といわれる。落選した政治家がロビ ストになる場合も多く、 に再就職していくが、 イストを名乗る場合もあり、 入している日本唯一の存在らし 私は名刺の裏に アメリカでは大統領が変わるた 大学や研究所、 「ロビイスト」 企業、 自営でロビイ 数万人いる マスコミ 一応口 ح 口

活躍する政治家ともいえよう。ビーからきており、政治の裏舞台で

いてくるので言葉として使われなローカーと見られてしまい、陰謀めローカーと見られてしまい、陰謀めローカーと見られてしまい、陰謀めいてくるので言葉として使われない。

表もロビー活動をするのである。いう事も聞くが、ロビイストは自分の主義主張を元に政治に関わっていいす事も聞くが、ロビイストは自分が、ロビイストは自分が、ロビイストは自分が、ロビイストは自分が、ロビイストは

■LRT推進ロビー活動

RT成功を可能にしたのは、 1997年、フランスのストラスアム)視察をした時、副市長からLデム)視察をした時、副市長からLボーののストラスのストラスのストラス

- 1. 交通基本法の成立
- 2. 公共交通財源の確保
- 3. 地方分権の徹底

鉄道再建支援を行った。その結果、 けて政策議論をし、 国会にLRT推進議連を作る仕掛け マ駅長が有名になった。 電車MOMOが導入され、 岡山には水戸岡デザインの低床路 もした。 の仲間を増やして100団体となり、 全国を講演して「交通まちづくり_ の三条件が必要と教えられた。 レールが開業し、 毎月国土交通省などに出か 和歌山電鉄のタ 一方では各地 富山ライ 以後 面

る。 成立、 また仕掛けた花火の一本なのであ T化時の地域活性化策として、 備邪馬台国東遷説_ 具体化しようとしている。 の路面電車延伸や吉備線LRT化が が岡山市長になり、 昨年末には MOMO導入時の国交省課長 「交通政策基本法」 は、 18年来の懸案 吉備線LR 実は これ 「吉 が

■私の政治信条

の最中であり、「アメリカ帝国主義」そがいる。高校時代はベトナム戦争雷を踏んで死んだカメラマン南條直雷を踏んで死んだカメラマン南條直経済部にいて、先輩には江田五月氏

に私自身も猛反発。だがいわゆる学生運動に入らなかったのは、政治理 念だけの社会主義運動にも限界があ ると考えていた。私自身が経営者一 族だから、お金の威力も知っていた し、ブルジョア革命や大原孫三郎の ような旦那衆による社会貢献にも一 ような旦那衆による社会貢献にも一

げるのは私だけだった。青で、ノンポリ保守系リベラルを掲やったが、私以外は全員共産党系民やすたが、私以外は全員共産党系民

てみたわけである。 うになり、 以降は史実に基づくと考えられるよ 実在説には本能的に拒絶反応があ 解明しようとしたからで、 皇制が日本社会に必要とされたかを て、 争に天皇制が利用された反省とし の勉強を始めたのも、あの太平洋戦 レビの「皇室アルバム」を見るのは は批判的な立場であった。ただしテ 大好きだった。 実は私が大学1年から吉備古代中 さはさりながら日本書紀の神武 天皇制そのものの本質、 神武東征の実態を想像 今でも神話や高天原 天皇制に なぜ天

■ 次情報としての考古学

邪馬台国を語る魏志倭人伝は魏書

3 6 に過ぎないし、 経験でなく、 報は所詮、 代史としての価値は大きい。 釈は36万字) 物だから二次情報以下の取捨選択さ 意向を無視した著述はできなかっ も魏志倭人伝に語られる邪馬台国情 にすぎないが、 れた情報といえよう。 万字 歴史書はすべて政治的配慮の産 (南朝宋の裴松之の魏書注 魏書編纂者の陳寿自身の 記録や伝聞の一 魏を乗っ取った晋の 邪馬台国のほぼ同時 のごく一部の二千字 けれど 一次情報

う使いまわそうとも、 神社の縁起などは記紀の影響を受け 邪馬台国時代から五百年後である。 報以下のものだし、 ることは絶対にできないというのが 注意を要する。 神話として書いたのだから、さらに 編纂者がわざわざ史実としてでなく えられる。 私の立場である。 れた三次情報がほとんどであると考 もちろん我が日本の記紀も二次情 後の政治的事情から再三改変さ 記紀の神話部分は、 結局神話の部分をど 編纂されたのは 史実を証明す 記紀

> 明できるものの、 浮き彫りにすることができる。 詳細を知ることは至難の業だ。 し歴史の社会構造的部分はかなり解 検討することによって当時の社会を れていた いわばタイムカプセルとして凍結さ 方考古学の成果というものは 一次情報であって、 政治史的な部分の 丹念に ただ

考古学ではとても食うことのできな 座受けて単位も取得したが、当時は 査報告書はかなり手に入れて読ん い時代だった。 私は大学時代に考古学講義を三講 当時の岡山の発掘調

> だ。 ない。 ら読んでいただき、色々ご指導いた 係本を読んだとはいえ、 だいたのは幸運であった。 の柳瀬昭彦さんに原稿の初稿段階か 資料としての書籍類を読んだにすぎ しての発掘調査報告書でなく、二次 だがその後は数百冊の古代史関 だから今回の執筆で、 一次資料と 考古学

ビイストとしての私の願いだ。 契機になって欲しいというのが、 る糸口や、 遷説」が、 現段階での提案「吉備邪馬台国東 これからの日本を考える 日本国家の生い立ちを語 口

平賀元義

岡 山県俳人協会 副会長 赤木ふみを

明治三十四年 (一九〇一年) 正岡

平賀元義肖像画

平賀元義のみ」と紹介し、 を世に残したるもの実に備前の歌人 子規が、新聞 を馳せたのが平賀元義である。 「万葉の真価を認めて万葉調の歌 「日本」 0) 『墨汁一滴 全国

新聞) に赴任した羽生永明が元義の歌に出 始まりは岡山尋常中学(後の一中) に「恋の平賀元義」なる記事 Щ 陽新報 (後の山陽

> その嫡男である。 島陶に生まれた。父は岡 歌人、まだ大学生の赤木格堂である。 規に届けたのが岡山市出身の俳人・ きと収集した二百数十首を病床の子 を連載したことによる。 平賀元義は一八〇〇年(寛政一二 故あって、 母の実家、 生後間もなく岡山 その切り抜 山藩藩士、 倉敷市玉

生い立ち

へ移り、祖母に養育された。

吉と名乗る

津新

六歳 四歳 五歳 小倉百人一首を暗 仮名全部を記憶 源五郎出生 誦

> 二六歳 二〇歳 九歳 一歳 興津家の厄介人となり、 弟が跡目を相続 離婚 初めて歌会に出 病身を理由に退身、 岡山藩藩士の娘を娶る 弟が嫡子となる 祖 母方の 父の厄

二八歳 養子縁組を結び、 岡山藩藩士・犬丸松次との 犬丸家を離縁され、 この年十月、父が逝去 犬丸新吉と名

七歳

元服

支援により、

に歌や古学を指導した。

楯之舎塾は

を創設。

周辺の神主や門人 美咲町飯岡に

楯

の人生が始まる に大きく影を落とす。 年での離婚、 恩愛を知らずに育ったこと、 厄介人に戻る そして父の急逝は心 ここから波乱

漂泊の日々

る。 き臣を有木の山の埋もれ木にして」 時一七歳。元義は家庭教師役であっ 願い」を出して脱藩する。 命を拒み、 たろう。「あたらこの成親がごとよ に平賀左衛門太郎源元義と名乗る。 大守隆侚の賓客として招かれ、 ○年滞在。 歌碑が福田海の鼻ぐり塚に現存す そして二年後、吉備津彦神社社務 三十三歳の時、 蟄居。 大守の子息、 元義も 弟が池田 田 隆公は当 これを機 他所住所 家中老の

漂泊の人生を続ける。 兀 五歳の時、吉備津彦神社を離れ

の神主、長浜豊三郎の次女富子を娶 四九歳の時、 五八歳の時、 男子二人が誕生 現 門人・矢吹林太郎等 備前 • 石淵鴨部神社

一年で閉鎖

茂政による「室入住居御免」 が出され、 六四歳、 岡山に戻る 八六三年、 藩主 沙沙汰 池 田

えてきた矢先、路上にて脳溢血で倒 が評価を得て、 不遇な元義に漸く安定した生活が見 登城命や黒住教の顧問が決まるなど 恋の歌も多く、徒名は 六六歳、 (児島高徳・ 凍死。享年六六歳 藩主の内命による 来春の再登用の為の 和気清麻呂の 「吾妹子先 調査 「先祖

生 夏でも足袋を履いていたことから 「片足袋先生」と呼ばれたという。 または、父と同様、 中風を患い、

古学者の所以

岡山藩士だった平賀元義は、

ぎ、 歳の時、 備前続風土記考や吉備国地理聞書等 歌は学問の余技と語っている。 と位置づけている。 や作歌に打ち込んだ。 地を放浪しながら、 万葉調歌人である加茂真淵を師と仰 地 第一に兵学、続いて、 理誌等一二項目に及ぶと語り、 脱藩。 岡山県内を中心に各 独学で古学研究 国学者であり、 自らを古学者 神道、 現に 歴

> ら歌会に参加したことから、 を著している。 もあり、 勉励もしたと窺える。 とはいえ、

ことの足冷ゆらんか」と嘆き、 座拝座し、 二人で冷水を浴び、夜通し荒莚に起 して離婚。 愛情を知らずに育った生い立ち、 「上山は山風寒しちちのみの父のみ 歌は苦悩の魂の凝縮である。 悔んだという。 さらに父の急死に遭う。 弟と 母の そ

崎」と読み替え、 重ねている。 ぐ」と詠んでいる。 会えない悲しさを立ち騒ぐ磯の波に 八浜町大崎)での歌だが、大崎を「逢 思へば児島の海逢崎の磯浪立ち騒 母への切ない思いを「柞葉の母を 母に会いたくても 大崎(現玉野市

武士の気概か

き」という歌は、 天皇の故事にちなんだもの の命は袋負ひお祁の命は牛飼ひまし えば脱藩直後に詠んだ「大穴牟遅神 かで素直な人柄が明確に伝わる。 しかし、 由になった自らをこともあろうに 栄華を手にした大国主命と仁腎 どの歌を取ってもおおら 若い時に苦難した 。脱藩し、 例

歌は苦悩が昇華したもの 歌の才 一八歳か

神や天皇になぞらえ、 洋々たる前

直情をみる。武士の気概であろうか 表現で言い切るところは激情、 な男の子を生ませたいとする直接的 に必ず令生ざらめや」あなたに元気 「天地の神に祈りてますらをを君 純粋、

吉備津彦神社への逗留

時の充実ぶりを思わせる。 色こくなりぬ」 吉備津彦神社界隈を謳った えなくに春の霞の隠したるかも」や、 社で詠んだ「我郷は山のさかりに見 が神の社! ○年は充実して過ごした。 天保六年から吉備津彦神社 のもみぢ葉は弥ますますに は吉備津彦神社滞 「吉備津 葦高神 での



倉敷市玉島陶に平賀元義生誕之地碑建立 (2014.1.28)

を思い描いている。

団

体

紹

備前福岡史跡保存会

会長 平原順二 (瀬戸内市議会議員)

備前福岡史跡保存会は、昭和44年4月備 前福岡に関係のある史跡の保存を図り、それ らを顕彰する目的で結成されました。現在の 会員数は90名で、会を運営しております。

中世、名刀、備前長船の刀鍛冶屋が並んだ 福岡はふいごを吹く丘に由来するといわれ る。そこに大きな市が立ち、賑わった。

平成5年より平井医院の病院跡をお借りし、備前福岡郷土館として、史跡に関する資料や遺跡を展示しており、毎週日曜日10時より15時まで開館しております。

平成23年からは国宝一遍上人絵伝の「福岡の市」場面をデジタル画像にして展示しており、その精密さに驚愕すると同時に、鎌倉時代、当時の生活様式が手に取るように分り、改めて、新しい発見をすることが出来ます。

今年始まった NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」の曽祖父黒田高政のお墓や祖父重隆の供養塔が妙興寺に有る御蔭で、昨年より観光客がうなぎ上りに増えております。

さらに、今年から古民家を再生し、黒田家の礎の地にちなんだ各種資料を集め、展示しており、こちらの方も好評を博しております。

古民家仲崎邸は、築100年ですが、建築主のこだわりが随所に見られ当時の最高の技術で最高の材料をふんだんに使っており、備



妙興寺の黒田 家墓所で目薬 の木を植樹す る会員 (2013・11・29)

高松城址保興会

会長 横田俊司(当会顧問)

高松城址保興会は明治 42 年、高松城址の 保存と宗治公の遺徳を偲び顕彰することを目 的に設立された。代々、会長は高松村長、高 松町長が務め、昭和 46 年高松町が岡山市に 編入合併以後は民間人が会長に、そして岡山 市長は名誉会長となり、今日に至っている。

会員は庄内学区約3,200戸全戸。役員は 高松地区の各種団体の長が務めている。

毎年6月、第1日曜日に宗治祭、7月上旬 に蓮見会等を行っている。

これまでの経緯は

明治 42 年、高松城址保興会が設立される石 井山持宝院址より宗治公の首塚を発掘し高 松城址へ移す。

昭和 33 年、宗治公首塚再発掘、首瓶を復帰 昭和 57 年、公園を整備、資料館運営始まる。

宗治公 400 年忌大法要、歌碑が除幕される。 平成 15 年、築堤公園(蛙ヶ鼻)を整備。 平成 17 年、高松城址保興会に緑綬褒章。

毎年の宗治祭には、墓前において厳粛且つ 盛大に宗治公の遺徳を偲んでいる。

「浮世をば 今こそ渡れ 武士の 名を高松 の 苔に残して」は宗治公の辞世の句である。

老人会は、毎週土曜日、城址の清掃活動をしている。そして会員は、城址で観光案内を買って出ている。NHK大河ドラマの影響で観光客が増えている昨今である。

岡山城と同格の国指定史跡となった今日、 備中高松城の復元が望まれる。

宗治祭四二九回忌法要 挨拶する横田会長(写真右)





お知らせ

第九回探訪会

兵 衛 官 ゆかりの地巡り

日時:6月6日(金)

集合:岡山駅西口バスセンター

7時45分

参加費:6,500円(バス代/ 昼食代/保険/入館/ガイド料)

定員:50名(先着入金順) 探訪地 (姫路)

黒田官兵衛大河ドラマ館

・姫路城内(3グループで) 官兵衛の歴史館 / りの一渡櫓 十字の鬼瓦・石垣 西の丸(千姫ゆかり)

- · 灘菊 西蔵(1,620 円昼食)
- 広峯神社

た。

- 黒田家廟所・御着城址
- ·国府山城址 · 黒田職隆廟所
- 英賀神社 / 英賀城土塁跡
- 探訪場所の変更あり

お知らせ ご 報 告

第六回 5月27

マの主人公は黒田官兵衛。

その曽祖父は現

編集後記

今年のNHK大河ドラ

在の瀬戸内市長船町福岡に居住していたこ

ダイボーの足跡・八畳岩・中山茶臼山古墳 と巡り、眺めのいい芝生で昼食を摂る。 よる安全祈願。そして、 龍王山めざして出発。天柱岩・八大龍王・ ①成親遺跡→福田海・鼻ぐり塚 ②平安桜→八徳寺→吉備 記念の写真撮影。

訪した。まず、

吉備津彦神社の守分宮司に

備の中山を守る会の案内で吉備の中山を探

冬日和の一月十八日

(土)、三十名が吉

第

訪 八

会

備の中山を守る 桜 綺麗なのは、 れて探訪 の二コースに分 吉備の中山 石 舟 古 吉

声しきり! 会のお陰

赤木格堂句碑

なぜ の思想とその業績」と題して中山亘氏は豊 第四回歴研サロン 冨な資料で約一 勉強になった」「もっと聞きたい」等の声 十一月二六日開催し、 山田方谷なのか 一時間話された。参加者から 四 - 備中の聖人、 一名が参加。 今

たち」

第五回歴研サロン **吉備真備とカタカナ」** 一月二五日に開催し四 一名が参加

を能勢初枝氏が約 演題

で講師 こだわりの歴史意識_ 時間講演した。 時間講演。 一人を交え夕食会(十五名) 終了後、 又 「教養としての歴史 と題し能勢協氏が カルチャーホテル を開

第六回歴研サロン (先着六十名)

ついて綴ってもらっ

江戸末期の万葉調歌人、平賀元義は正

台国東遷説』なる書を著した。

その想い

子規により紹介され、

全国に知られた。

俳

演題 竹本弘子氏 ゆうあいセンター 五月二十七日(火)一時半 戦国武将・荒木村重とその子孫 (徳島歴研 一階 副会長

毎

保興会、

備前福岡史跡保存会とした。

(楠

団体紹介は黒田官兵衛に因み、

高松城

址

赤木ふみを氏に紹介いただいた。

で始めた。 を対象に誕生茶話会をブックサロン龍紅堂 で埴輪?になり歴史談議に華をさかせ 今年から企画委員会主催で誕生月の会員 歴史研究会らしく前方後円墳型テー 名 一月は七名が参

会員の出版物紹介 (過去一年以内)

『吉備邪馬台国東遷説』

将男著

吉備人出版 ¥ 1,600+ 税

『いつまで出すのかおかやま 雑学ノート』第 10 集

赤井克己著 吉備人出版 ¥1,200+税

『吉備に邪馬台国ー瀬戸内市 (旧邑久郡)の歴史』 岡崎春樹編

会 発 岡山歴史研究会

事務局 編集長 楠敏明 7 0 天野勝昭



師黒田官兵衛」と題して黒田美江子さんに とから親しみを覚える。新年度の総会で「軍

講演をいただく

会員、岡將男氏は、邪馬台国は吉備にあ

そして大和に移ったとして『吉備邪馬